

●排泄

- ・軽度者への排泄介助を単独でできる
- ・失禁等に的確に対応できる
- ・利用者の気持ちに心を配り、尊厳を守る対応を学ぶ

軽度者への介助を単独で行うことが多くなる。排泄はデリケートな営みであり、利用者の気持ちに心を配った対応ができているか、尊厳を守る対応になっているか、指導者は訓練生が基本的な理念を実際の介護場面で実践できるように見守り、指導する。特に、失禁への対応が的確になされるように、留意すること。

●更衣・整容介助

- ・軽度者への更衣援助を単独でできる

中重度者の更衣も援助を受けながら行う。利用者がみずから衣類等を的確に選択できるように援助する。自己決定はそのような生活の細部において保障されなければならない。

●入浴の意義・方法

- ・入浴時に起き得る事故を知り回避するための留意点を知る
- ・看護師の処置業務を見学する
- ・入浴時の観察、気づきの大切さを知る
- ・入浴に関するケアを行う

治療としての入浴の側面をもつ疥癬への入浴時の対応を知る。また、歩行力を助けることにつながることもあるフットケアを実施する。

●レクリエーション・集団リハ

- ・リーダーを務めてみる
- ・利用者に必要なプログラムを企画立案する

補助的に参加した訓練生が自信のもてるプログラムを選択する。もちろん、利用者に事故を招くようなプログラムであってはならない。選択、準備、実施、振り返りのすべての段階に指導者は関与し、結果が訓練生の成功体験として自信につながるよう導く。また、新しいプログラムの企画立案が利用者のニーズに合ったものかどうか、また実行可能なものか、訓練生の提案が多く職員とともに検討され、修正され、豊かな内容に練り上げる課程を経験することで、職員集団のよさを理解する。

●記録

- ・公文書としての記録の意味を知る
- ・ヒヤリ・ハット記録等を読み、関連委員会に参加する

記録の保存年数、廃棄時の注意点を知る。多くの記録を読む機会を得ることで、利用者や施設の個人情報を知ることになる。訓練生には、訓練期間だけでなく終了後も守秘義務があることを指導する。

●訓練方法

- ・多職種の業務に触れる機会をつくる
- ・委員会などに参加させる
- ・リーダーとメンバーのそれぞれの立場を経験させる